

# 万華鏡

甲府商業高校 図書室  
令和3年7月  
NO.3

もうすぐ夏休みです。コロナ禍での制約があり、いつもの夏より家で過ごすことも多くなるかと思えます。目標に向かい有意義な時間を過ごすと共に、ぜひこの機会に読書を楽しんでみてはいかがでしょうか。

夏休み中も図書室は開館していますので、開館日・開館時間などを確認してご利用ください。

## \*夏休み図書館開館日\*

7月・8月 (色つきの日は閉館日 予定は変更することもあります。)

日	月	火	水	木	金	土
	7/26	27	28	29	30	31
8/1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	始業式			

\*開館時間は9時30分～12時までとなります\*

## ★夏休み特別貸出実施!

貸出開始：7月12日(月)～  
貸出冊数：1人5冊  
返却期限：8月27日(金)



## 67回青少年第読書感想文全国コンクール

課題図書が届きました。

夏休みの読書の参考にしてください。

『水を縫う』	寺地はるな／著
『兄の名は、ジェシカ』	ジョン・ポイン／著 原田勝／訳
『科学者になりたい君へ』	佐藤勝彦／著



## 新着本紹介

『水を縫う』 寺地はるな／著 集英社  
書籍紹介：刺繍が好きな高校生の清澄が、かわいいうものが苦手な姉の水青のため、ウェディングドレスを手作りすると宣言して――。清々しい家族小説。

『兄の名は、ジェシカ』 ジョン・ポイン／著 あすなる書房  
書籍紹介：ほくのヒーローは4歳上の兄だ。その兄が告白した。自分は「トランスジェンダー」だと。LGBTの若者の想いをさわやかに描いた物語。

『科学者になりたい君へ』 佐藤勝彦／著 河出書房新社  
書籍紹介：宇宙の果て、生命の謎、コンピューター…サイエンスに関心を抱き、研究職を目指す人へ、日本の科学研究を牽引した著者がその扉を開く。

『エレジーは流れない』 三浦しをん／著 双葉社  
書籍紹介：のどかでさびれた温泉街に暮らす高校2年生の怜は、複雑な家庭の事情、迫りくる進路選択、自由奔放な友人たちに振り回される日々を送っている。そんななか、博物館から縄文式土器が盗まれ…。モヤモヤした日常を吹き飛ばす青春群像小説!

『琥珀の夏』 辻村深月／著 文藝春秋  
書籍紹介：発見された三十年前の小さな白骨が開いていく、記憶の扉。大人になる途中で忘れてしまったものは一体どこにいったのか。読むうちに、眠っていたはずの子ども時代がざわめく……。大人の心を震わせる圧巻のラスト!

『海辺の金魚』 小川紗良／著 ポプラ社  
書籍紹介：児童養護施設で暮らす花は、18歳の夏を迎えたが、将来への夢や希望を何ひとつ持っていない。ある日、事情を抱えた女の子・晴海が施設にやってくる。晴海の姿に、花はかつての自分を重ね合わせ…。みずみずしい連作短編集。

- ★『正欲』 朝井リョウ著 新潮社
- ★『傷痕のメッセージ』 知念実希人著 KADOKAWA
- ★『君と漕ぐ』 武田綾乃著 新潮社
- ★『ドキュメント』 湊かなえ著 KADOKAWA
- ★『薔薇のなかの蛇』 恩田陸著 講談社
- ★『ワンドフル・ライフ』 丸山正樹著 光文社
- ★『木のストロー』 西口彩乃著 扶桑社
- ★『きのうのオレンジ』 藤岡陽子著 集英社
- ★『めぐりと私。』 大崎梢著 東京創元社
- ★『あの夏の正解』 早見和真著 新潮社
- ★『ヤングケアラー わたしの語り』 澁谷智子著 生活書院
- ★『ぼく モグラ キツネ 馬』 チャーリー・マッケジー著 飛鳥新社 など…

☆この夏休みに新しい本にもチャレンジしてみてください。